

## 取扱いの趣旨

耳処置を特に必要としない傷病名、又は基本診療料に含まれる点耳又は簡単な耳垢栓塞除去に該当する場合は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】

《令和6年4月30日》

### 117 耳処置の算定について

#### ○ 取扱い

- ① 次の場合の滲出性中耳炎に対するJ095耳処置の算定は、原則として認められる。
  - (1) 鼓膜切開後、鼓膜穿孔あり又はチュービング中若しくはチュービング後の場合
  - (2) 鼓膜穿孔後の場合
- ② 次の傷病名に対するJ095耳処置の算定は、原則として認められない。

(1) 滲出性中耳炎（①の場合を除く。）	(5) （感音）難聴
(2) 耳閉感	(6) 耳痛症
(3) 耳垂腫瘍	(7) めまい症
(4) 耳鳴症	(8) 軟耳垢

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

耳処置は、外耳道入口部から鼓膜外表面までの清掃や乾燥化を目的に行われる処置で、耳浴や耳洗浄を含む。

滲出性中耳炎は、感染等により慢性的な炎症が生じ、中耳（耳小骨、鼓膜、鼓室）からの分泌液が排出されずに貯留するものであり、ほとんどの患者で注意深い経過観察を行う。

1から3か月で改善がみられない場合は、抗菌薬等の薬物療法による保存的治療や、鼓膜穿刺、鼓膜切開術及び鼓膜チューブの挿入による外科的治療を行うが、外科的治療はその後の耳処置が必要になる。

以上のことから、上記①の場合の滲出性中耳炎（鼓膜切開後、鼓膜穿孔あり又はチュービング中若しくはチュービング後の場合、鼓膜穿孔後）に対するJ095耳処置の算定は、原則として認められると判断した。

また、上記②に掲げる傷病名は、耳処置を特に必要としないもの、又は、厚生労働省告示※の「点耳又は簡単な耳垢栓塞除去については、第1章基本診療料に含まれ、別に算定することができない」ものに該当する。

以上のことから、②に掲げる傷病名に対するJ095耳処置の算定は、原則として、認められないと判断した。

（※）診療報酬の算定方法

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	宮城、宮崎、香川、大分、山形、佐賀、和歌山	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	宮城、香川、大分、山形、佐賀、宮崎	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	宮崎、和歌山、香川、宮城	〃

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名及び診療内容より、滲出性中耳炎（鼓膜切開後等除く）のほか、耳部の湿疹等に対して当該処置を行っていることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

該当件数に対する検証結果

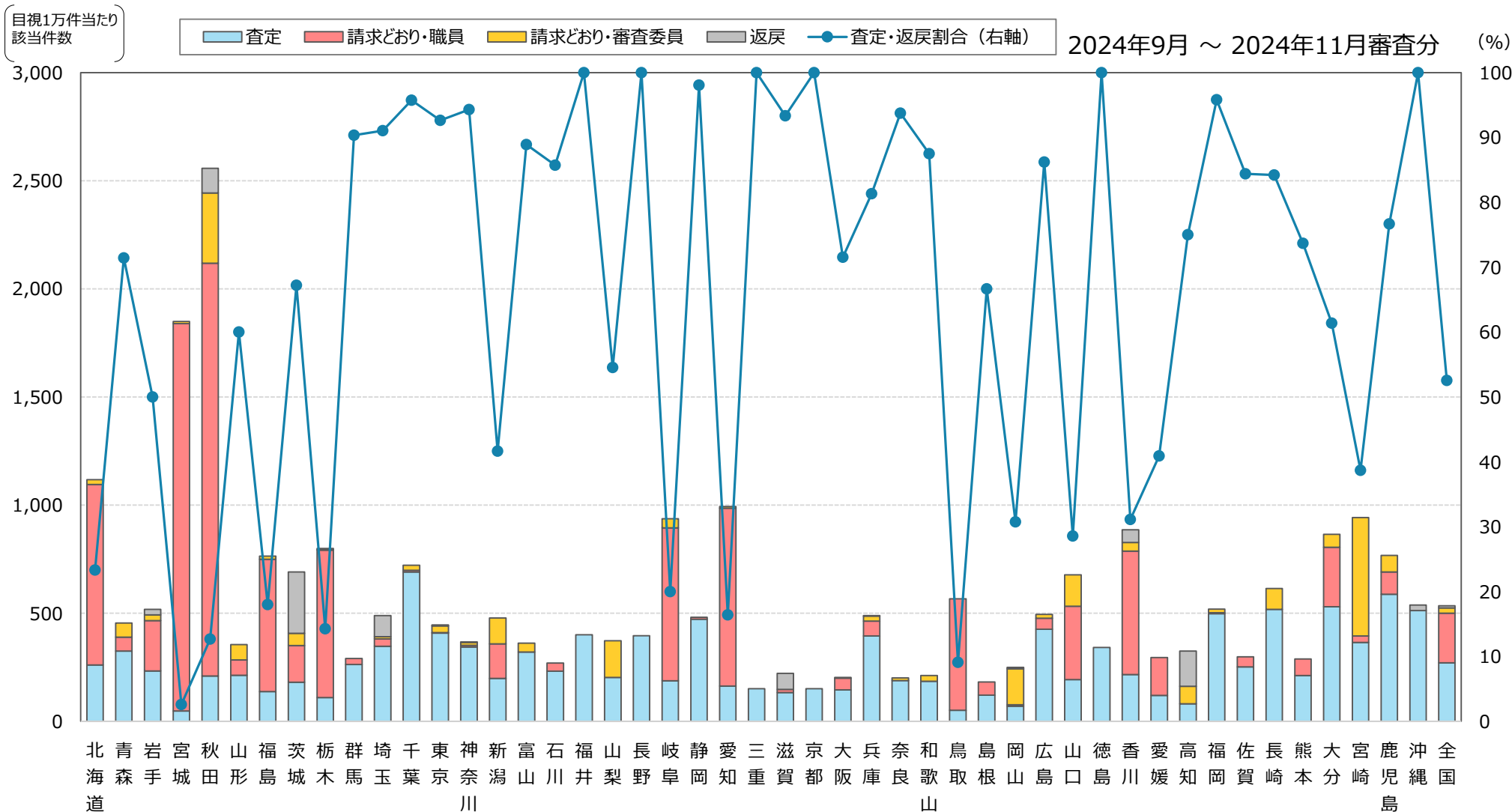
2024年9月～2024年11月審査分

検証の結果、該当件数4,172件のうち、**取扱いと異なる審査は289件（6.93%）**  
検証対象33都道府県のうち、**フォローアップ対象は7都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							詳記等 から適正				
01 北海道	253	251	99.21%	59	0	59	192	2	0.79%	0	2
02 青森	14	14	100.00%	10	0	10	4	0	0.00%	0	0
03 岩手	20	20	100.00%	9	1	10	10	0	0.00%	0	0
04 宮城	193	8	4.15%	5	0	5	3	185	95.85%	184	1
05 秋田	134	123	91.79%	11	6	17	106	11	8.21%	11	0
06 山形	5	4	80.00%	3	0	3	1	1	20.00%	1	0
07 福島	111	110	99.10%	20	0	20	90	1	0.90%	1	0
08 茨城	61	60	98.36%	16	25	41	19	1	1.64%	0	1
09 栃木	189	188	99.47%	26	1	27	161	1	0.53%	0	1
10 群馬	31										
11 埼玉	145										
12 千葉	188										
13 東京	420	412	98.10%	384	5	389	23	8	1.90%	0	8
14 神奈川	193										
15 新潟	48	48	100.00%	20	0	20	28	0	0.00%	0	0
16 富山	9	9	100.00%	8	0	8	1	0	0.00%	0	0
17 石川	7	7	100.00%	6	0	6	1	0	0.00%	0	0
18 福井	18										
19 山梨	11	10	90.91%	6	0	6	4	1	9.09%	0	1
20 長野	14										
21 岐阜	90	88	97.78%	18	0	18	70	2	2.22%	0	2
22 静岡	52										
23 愛知	864	863	99.88%	142	0	142	721	1	0.12%	0	1
24 三重	8										

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							詳記等 から適正				
25 滋賀	15										
26 京都	31										
27 大阪	288	284	98.61%	206	0	206	78	4	1.39%	0	4
28 兵庫	214	198	92.52%	173	1	174	24	16	7.48%	6	10
29 奈良	16										
30 和歌山	8	7	87.50%	7	0	7	0	1	12.50%	0	1
31 鳥取	11	11	100.00%	1	0	1	10	0	0.00%	0	0
32 島根	3	3	100.00%	2	0	2	1	0	0.00%	0	0
33 岡山	39	39	100.00%	11	1	12	27	0	0.00%	0	0
34 広島	58	58	100.00%	50	0	50	8	0	0.00%	0	0
35 山口	28	28	100.00%	8	0	8	20	0	0.00%	0	0
36 徳島	21										
37 香川	45	30	66.67%	11	3	14	16	15	33.33%	14	1
38 愛媛	22	22	100.00%	9	0	9	13	0	0.00%	0	0
39 高知	4	4	100.00%	1	2	3	1	0	0.00%	0	0
40 福岡	95										
41 佐賀	32	27	84.38%	27	0	27	0	5	15.63%	5	0
42 長崎	19	18	94.74%	16	0	16	2	1	5.26%	0	1
43 熊本	19	19	100.00%	14	0	14	5	0	0.00%	0	0
44 大分	44	30	68.18%	27	0	27	3	14	31.82%	14	0
45 宮崎	31	12	38.71%	12	0	12	0	19	61.29%	1	18
46 鹿児島	30	30	100.00%	23	0	23	7	0	0.00%	0	0
47 沖縄	21										
全国	4,172							289	6.93%	237	52

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



該当件数	253	14	20	193	134	5	111	61	189	31	145	188	420	193	48	9	7	18	11	14	90	52	864	8	15	31	288	214	16	8	11	3	39	58	28	21	45	22	4	95	32	19	19	44	31	30	21	4,172
請求どおり件数	194	4	10	188	117	2	91	20	162	3	13	8	31	11	28	1	1	0	5	0	72	1	722	0	1	0	82	40	1	1	10	1	27	8	20	0	31	13	1	4	5	3	5	17	19	7	0	1,980

【該当件数】滲出性中耳炎等に対し耳処置を算定しているレセプト件数